

## 利根大堰稚アユ遡上現地調査報告

有志で利根大堰における稚アユの遡上調査状況の調査を行いましたので結果の報告をします。

日時 平成 18 年 5 月 13 日 ( 土 ) 10:30 ~ 12:30  
場所 利根大堰 ( 水資源機構利根導水管理事務所 )  
参加者 本会 ( 堂前、野村、荒牧、戸塚、宮澤、福田他 計 10 名 )  
水資源機構 ( 井爪本社課長、田中管理所長、宮本管理課長他 )  
群馬県 ( 小泉室長、砂長 GL )

### 1 . 内容

#### ( 1 ) 利根大堰の稚アユ遡上に配慮した水門の運用説明

2 号魚道と 3 号魚道の中央部の水門を下げて河川中央部で最も流量が多くなり、稚アユが早い流れの脇を遡上し、2 , 3 魚道に速やかに到達できるような操作を行なっていることの説明を受けた。  
ただし、雪代時などの出水時では運用法が変更になる。

#### ( 2 ) 稚アユの遡上調査に関する説明

各魚道の調査法の概要は次のとおりである。

- 1 号魚道・・・網による採捕 ( 2hr ごと 8:00 ~ 18:00 )、ビデオ撮影
- 2、3 魚道・・・目視による数量調査 ( 6 回 / 日、1 回 10 分 )、ビデオ撮影

#### ( 3 ) 遡上調査結果等の説明 ( 年度途中成果 )

遡上量の経年変化

H18 遡上結果

昨年の確認数を越えた。水温の上昇と遡上量は関係がありそうである。

稚アユ遡上に配慮した水門の運用は下流流量が 100 ~ 150m<sup>3</sup>/s 時にうまく機能する傾向にある。

稚アユ遡上に配慮した水門の運用の試行の結果 ( 中間時 ) 各魚道別の概算遡上割合は次のとおりである。

1 号魚道 14% 5%、2 号魚道 51% 65%、3 号魚道 35% 30%

水門の運用の変化は、遡上する魚道に影響を与えているようだ。2 , 3 魚道が増加したことは当初の狙いのとおりである。

#### ( 4 ) その他

1 号魚道の映像がライブ映像で見られるようになる。



(5) 現地における遡上状況の確認

12:00における捕獲網の引き上げに立会いました。稚アユが15匹採捕されました。大きさは4~5gr程度で、非常にきれいな魚体です。



体長、体重の測定



1号魚道出口の採捕用の金属網

(報告：福田睦夫)